第３回ダイバーシティ委員会報告書

日　　時	2026 年 9 月 8 日（火） 16 時 30 分～17 時 40 分
開催方法	㈱データープロセスサービス様会議室 & Zoom
出 席 者	田村、國清、高木、小檜山（秋）、塩谷、矢吹、大和、ニラ、畠山、三上、渡辺、和田、坂巻、大西、石川、越賀、前山（担当副会長）（敬称略） 事務局

■新メンバーのご紹介

新メンバーの和田 敬三氏(株式会社ダイコーIWS)よりご挨拶があった。

■座談会テーマ選定について

1) 前回の委員会で出された意見を踏まえ、以下の３テーマが提案された。
   ① AI 時代のダイバーシティ：AI は障害者・高齢者・外国人の雇用・働き方をどう変えるか
   ② 共働き世帯の育児と仕事の両立：ベストパートナー賞受賞者を招き、実体験を語ってもらう
   ③ 世代間の価値観の違いの乗り越え方：バブル世代・就職氷河期世代・Z 世代など各世代の考え方を探る
2) 議論の結果、①「AI 時代のダイバーシティ」をメインテーマとする方向で概ね合意。③は勉強会とテーマが重複する可能性があり、②は座談会形式よりもパネルディスカッション形式が適切との意見があった。
3) メインテーマの下にサブテーマを設定し、テーブルごとに話題を振り分ける形式が有効との意見があった。
4) 開催予定は 2027 年 2 月 9 日。全体約 1 時間半を想定。
5) 各テーブルに PC を設置し、生成 AI を実際に活用したい。大型モニターのほか、数台モニターが利用できるか事務局で確認。少なくとも 4 グループを想定。事前デモやプロンプト設定の担当者は３名(矢吹さん、石川さん、越賀さん)を仮決定し、あと 1 名は別途調整する。
6) 今後のスケジュール
   ① 10 月に担当者にてテーマ・詳細内容を確定
   ② 12 月の委員会で正式提案、その後の理事会で周知
   ③ 理事会後に参加者募集を開始する
7) ㈱ティー・エム・シーの越賀氏が座談会担当者に加わることになった。

■ボードゲーム交流会の開催について

1) 開催日：11 月 19 日（水）18 時 30 分～　場所：事務局会議室　定員：約 25 名（4～5 名×4～5 テーブル）
2) ダイバーシティの観点から「世代間交流」をテーマとし、昨年度の役員・委員会メンバー企業限定から、今回は一般参加を含むオープン開催へ拡大する。幅広い年齢層の参加を目指す。
3) 10 種類以上のストックから 3～4 種類を選定するとともに、予算内での新規購入も検討。初参加者向けにルール説明担当を運営側で用意し、参加へのハードルを下げる。

4) 募集時に初心者・経験者の別を確認し、経験者への対応も検討する。ローカルルールを使用する場合は事前に明記する。運営スタッフ・お手伝いも同時募集する。
5) 9 月末にかけてチラシを作成して、10 月開催のビジネスフォーラムや他の委員会開催時に配布して周知する。
6) 9 月の理事会で周知するとともに、担当者の打ち合わせを 9 月後半～10 月に実施したい。

■雇用実態調査アンケートについて

1) 例年通り 12 月にアンケートを各社へ送付し、2 月頃までに集計・報告する。今回は従業員数調査とは別口で実施するため、回答率を見極めたうえで今後の改善を検討する。
2) 不要項目を精査するとともに、座談会・勉強会のテーマとして活用できるよう、追加項目も検討する。
3) 今年度、過去 9 年分のデータをまとめ考察を行う。考察には AI を活用する。
4) 考察テーマは、外国人活躍、高齢者活躍、障害者活躍、女性活躍（今回が初回まとめ）、LGBTQ（試験的実施。動きが少なければ除外を検討）とする。

■勉強会の準備について

1) テーマ:「考え方の違いから生まれるギャップ・すれ違い」
2) 形式は、簡単な座学+グループディスカッション（前回同様）とする。
3) 生成 AI の活用は座談会の様子を見てから判断することとし、今回は見送る。資料作成には AI を活用する予定。
4) サブテーマは未定だが、言語・世代・地域など、具体的なギャップの事例を盛り込む方向で検討する。

■そ の 他

1) ㈱アイネットのニラ氏より、10 月より別部署へ配属予定との報告があった。
2) ㈱ダイコーIWSの和田氏より、韓国人材採用情報提供セミナーについて紹介があった。セミナーは、9 月末頃に Web で 1 時間程度開催予定。韓国での国費 SE 研修（7 か月無料）修了者の日本採用情報を共有する。

■次回委員会

2026 年度第 4 回ダイバーシティ委員会は、12 月 8 日(火)に勉強会と合わせて開催する。

以　上